

## 地球温暖化対策計画書

## 1 指定地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）
指定地球温暖化対策事業者	損害保険ジャパン株式会社

## (2) 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称		損保ジャパン事務本部ビル							
事業所の所在地		東京都西東京市新町六丁目3番5号							
事業の業種	分類番号	J67	J_金融業_保険業		保険業（保険媒介代理業、保険サービス業を含む）				
	産業分類名	保険業（保険媒介代理業、保険サービス業を含む）							
業種等	事業所の種類	主たる用途	事務所						
		建物の延べ面積 （熱供給事業所にあつては熱供給先面積）	前年度末	35,466.00	m <sup>2</sup>	基準年度	35,466.00	m <sup>2</sup>	
		用途別内訳	事務所	前年度末	29,568.62	m <sup>2</sup>	基準年度	29,568.62	m <sup>2</sup>
			情報通信	前年度末	5,897.38	m <sup>2</sup>	基準年度	5,897.38	m <sup>2</sup>
			放送局	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			商業	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			宿泊	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			教育	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			医療	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			文化	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			物流	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			駐車場	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
工場その他上記以外	前年度末			m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>		
事業の概要		1. 損害保険事業<引き受け>火災保険、海上保険、傷害保険、自動車保険、自動車損害賠償責任保険、その他の保険、各種の再保険 <資産の運用>貸付業務、有価証券投資業務 2. 他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務代行 3. 融資、資産の流動化等に係る債務保証 4. 投資信託の窓口販売業務 5. 政府の自動車損害賠償保障事業の業務の一部委託							
敷地面積		25,157.00					m <sup>2</sup>		



(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	人事部
	電 話 番 号 等	050-3798-3531
公表の 担当部署	名 称	人事部
	電 話 番 号 等	050-3798-3531

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス :	<a href="http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/valuechain/climate/">http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/valuechain/climate/</a>
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所 :	
		所在地 :	
		閲覧可能時間 :	
	冊 子	冊子名 :	
入手方法 :			
そ の 他	アドレス :		

(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2009	年度	事業所の使用開始年月日	1974	年	5	月	1	日
特定地球温暖化対策事業所	2009	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

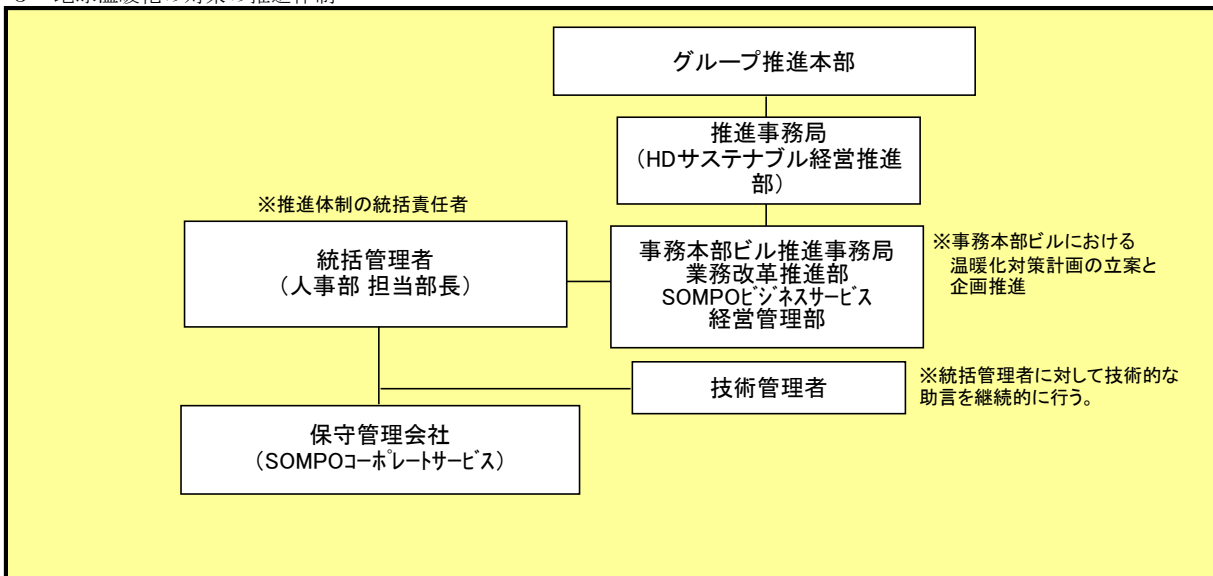
SOMPOグループは、かけがえのない地球環境を未来へ引き継ぐため、業務プロセスに環境への配慮を組み込むとともに、ステークホルダーとの積極的な対話と協働を通じて、環境問題の解決に積極的に取り組むことで、レジリエントで持続可能な社会づくりに貢献していきます。

《環境行動》

1. 社会のレジリエンスを高めるための商品・サービスの提供
2. バリューチェーンを含めた環境負荷の低減
3. 環境問題に対する意識啓発、環境・地域貢献活動の推進

再エネの導入・利用に関する取組みについて：

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2020年度から		2024年度まで		
削減目標	特定温室効果ガス	事務室および共用部の照明設備LED化工事を計画的に実施継続し、また高効率の機器への更新およびインバーター制御を導入により、電力量を抑え基準排出量の削減義務27%以上の削減に努める。			
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	継続的に上水道の節水に努めて削減を図る。			
削減義務の概要	基準排出量	9,933	t (二酸化炭素換算) /年	削減義務率の区分	I-1
	排出上限量 (削減義務期間合計)	37,577	t (二酸化炭素換算)	平均削減義務率	27%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2025年度から		2029年度まで		
削減目標	特定温室効果ガス	高効率モーターファン等の機器への更新およびインバーター制御機器を計画的に実施し、温室効果ガス排出量の削減に努める。			
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	継続的に上水道の節水に努めて削減を図る。			

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特定温室効果ガス (エネルギー起源CO <sub>2</sub> )	3,819	2,531	2,017		
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )				
	メタン (CH <sub>4</sub> )				
	一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)				
	ハイドロフルオロカーボン (HFC)				
	パーフルオロカーボン (PFC)				
	六ふっ化いおう (SF <sub>6</sub> )				
	三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )				
	上水・下水	14	13	14	
合計	3,833	2,544	2,031		

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量	107.7	71.4	56.9		

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ 2002年度・2003年度・2004年度 ）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
変更年度	○		○			

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I-1
----------	-----

(4) 削減義務期間

2020年度から	2024年度まで
----------	----------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量(A)	10,875	10,797	9,933	9,933	9,933	51,471
	削減義務率(B)	27.00%	27.00%	27.00%	27.00%	27.00%	
	排出上限量 ( $C = \sum A - D$ )						37,577
	削減義務量 ( $D = \sum (A \times B)$ )						13,894
実績	特定温室効果ガス排出量(E)	3,819	2,531	2,017			8,367
	排出削減量 ( $F = A - E$ )	7,056	8,266	7,916			23,238

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input checked="" type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	事務室内および共用部分の蛍光灯タイプ照明を計画的に順次、LED照明に更新してきた為、電力量が減少した。		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
					【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】
1	150200	15_照明設備の運用管理	誘導灯更新工事（121箇所）	2010	2010年度完了
2	130100	13_空調和の管理	クールビズ等	2011～	7月～9月末の期間
3	150200	15_照明設備の運用管理	外灯照明LED化	2010～2021	2021年度完了
4	150200	15_照明設備の運用管理	各階照明器具のHF化	2012	2012年度完了
5	150200	15_照明設備の運用管理	1階南ロビーLED化	2012	2012年度完了
6	150200	15_照明設備の運用管理	1階ELVホール及び6階食堂他LED化	2013	2013年度完了
7	150200	15_照明設備の運用管理	3階2階電算室及び玄関ロビー他LED化	2014	2014年度完了
8	150200	15_照明設備の運用管理	B1階中央監視室及び廊下他LED化	2015	2015年度完了
9	130200	13_空調和設備の効率管理	給排気ファン高効率化	2011～2015	2015年度完了
10	150200	15_照明設備の運用管理	6階ELVホール共用部他LED化	2016	2016年度完了
11	150200	15_照明設備の運用管理	5階4階ELVホール共用部及び東階段他LED化	2017	2017年度完了
12	150200	15_照明設備の運用管理	6階講堂及び東廊下他LED化	2017～2018	2018年度完了
13	150200	15_照明設備の運用管理	3階ELVホール廊下及び西階段LED化	2019～2020	2020年度完了
14	150200	15_照明設備の運用管理	5階事務室及び女子トイレLED化	2020～2021	2021年度完了
15	150200	15_照明設備の運用管理	1階共用部LED化	2021～2022	2022年度完了
16	150200	15_照明設備の運用管理	4階事務室LED化	2021～2022	2022年度完了
17	150200	15_照明設備の運用管理	2階3階7階機械室等共用部LED化 4階北東女子トイレLED化	2022	2022年度完了
18	150200	15_照明設備の運用管理	1階事務室及び2階共用部LED化	2022～2023	
19	150200	15_照明設備の運用管理	2階3階6階事務室LED化	2022～2024	
20					
					（再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況）
71					
72					
73					
					【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】
81					
82					
83					
					【排出量取引の計画及び実施の状況】
91					
92					
93					

## 8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

当社では、地球の環境保全・地球的規模での環境保全及び循環型経済社会の構築を企業の社会的な責任ととらえ、環境・経済効率に配慮し環境問題への取り組みを地道かつ継続的に展開してきた。そのことにより事業者従業員の地球環境に対する意識の向上が図られた。

また、具体的には以下のとおり地球温暖化対策に取り組んできた。

### 1. 事業所での省エネの取り組み

- 2003年度 ・2F東電算室の空調システムの変更
- 2004年度 ・2F西・3F東西の電算機械室空調システムの変更・2F・3F東西電算室の照明設備の変更  
・CVCF設備の更新及び負荷適正化運転システムへ変更・余剰INV設備の撤去
- 2005年度 ・夏季室内温度設定の変更（25.5℃→27.0℃）
- 2006年度 ・省エネベルトの採用
- 2008年度 ・ガラスフィルム導入による省エネ対策
- 2009年度 ・24時間空調の空冷化・照明器具の高効率化（HF化）
- 2010年度 ・誘導灯更新工事（-8.00tco2）
- 2010～2012年度 ・外灯照明（水銀灯9台）LED化（-0.82tco2）
- 2011年度 ・給排気ファン（8台）高効率化・low-eガラス（11箇所）更新・照明器具のHF化（-40.79tco2）
- 2012年度 ・1階南ロビーLED化（-4.38tco2）・給排気ファン（8台）高効率化（-0.35tco2）
- 2013年度 ・1階ELVホール及び6階食堂他LED化（-1.87tco2）・給排気ファン（4台）高効率化  
・3階南事務室ガラスフィルム（遮熱）貼工事
- 2014年度 ・3階2階電算室及び玄関ロビー他LED化（-57.27tco2）・給排気ファン（6台）高効率化  
・南面事務室の空調熱損失を防ぐ為low-eガラス（175箇所）に更新
- 2015年度 ・暖房温水洗浄便座の暖房および温水を停止（4月～9月）  
・給排気ファン（13台）高効率化（-8.30tco2）  
・B1階中央監視室及び廊下他LED化（-3.73tco2）  
・トイレ系統排気ファン（1台）をインバータ制御に更新
- 2016年度 ・北面事務室の空調熱損失を防ぐ為low-eガラス（85箇所）に更新  
・外灯照明（水銀灯4台）LED化（-0.48tco2）・6階ELVホール共用部他LED化（-2.28tco2）  
・上水給水加圧ポンプ（3台）をインバータ制御に更新
- 2017年度 ・雑用水給水加圧ポンプ（4台）をインバータ制御に更新  
・1階南ロビー日除け対策ブラインド設置  
・5階4階ELVホール共用部及び東階段他LED化（-10.28tco2）
- 2017～2018年度 ・6階講堂及び東廊下他LED化（-9.30tco2）
- 2018年度 ・外灯照明（水銀灯3台）LED化（-0.36tco2）
- 2019年度 ・外灯照明（水銀灯6台）LED化（-0.72tco2）・高効率のPAC更新（1台）  
・3階給湯トイレ他LED化（-0.81tco2）  
・3階北西事務室の空調熱損失を防ぐ為、low-eガラスに更新
- 2020年度 ・3階ELVホール廊下及び西階段LED化（-8.06tco2）  
・外灯照明（水銀灯6台）LED化（-0.72tco2）
- 2021年度 ・5階事務室及び女子トイレ・外灯照明LED化（-30.39tco2）
- 2022年度 ・7階3階2階機械室等共用部及び4階北東女子トイレ照明LED化（-1.04tco2）  
・4階事務室照明LED化（-27.29tco2）

### 2. 社員・グループ会社に対する環境意識向上のための啓発活動

ISO14001を取得し、社員の環境に対する意識向上をさせるために、CSR研修や環境への社会貢献活動など意識改革に向けた取り組みを積極的に推し進めている。

また、地域環境に関する協働の促進、地域の環境改善活動のサポートへ積極的に参加している

再エネの導入・利用に関する取り組みについて：